



ふるえがお



古江小 HP QR コード



令和7年9月2日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

2学期スタート！

44日間の夏休みも終わり、昨日から2学期がスタートしました。初日はどんな顔をして家を出発したのでしょうか？「いよいよ学校が始まるぞ。」というわくわくした気持ち、久しぶりに友達や担任に会うのにドキドキした気持ち、宿題が終わってなくて叱られないかとハラハラしている気持ち。いろいろな気持ちが入り混じっていることと思います。

夏休み中は各家庭でどのように過ごされましたか？今しかない時間を楽しみ、有意義に過ごすことができているのであれば幸いです。1学期終業式で生徒指導担当教員が話した「①えの人との約束を守る ②のりものに気をつける ③いさなことでも大人に相談」という合言葉を実践できていたようで、大きな事故やけがといった報告はありませんでした。公民館活動やジュニアリーダー主催事業、あったかスクラム夏祭りなど、地域行事に多くのこどもたちが積極的に参加している姿に、地域の人がとても喜んでおられたという嬉しい報告も聞いています。

2学期には、ひまわり発表会、連合音楽会（4年）、修学旅行（6年）という大きな行事に加え、校外に出かける体験活動もより一層増えていきます。加えて、将来の教員を志す島根大学の学生4名を受け入れる県教育委員会主催事業の「5day's 体験」、高校の先生を受け入れる「中堅教員研修（異校種体験）」、体力向上事業学校訪問など、学校外の多くの方に見ていただく機会も多く予定されています。いろいろな年代の、いろいろな背景をもった方に出会い、ふれあい、学ぶことで、こどもたちがより一層成長していくきっかけとなれと思います。

意外な一面をたくさん知れたらいいですね

今の世の中、ありのままの自分をそのまま出すことができにくくなっているのではないのでしょうか？周りの目を気にして、「これって他の人はどう思うのだろう？」「ひかれなかな、いじられないかな？」と不安な気持ちになってしまうことが多いのかもしれない。

「みんなちがって みんないい」という金子みすゞさんの詩の一節のような社会であることをめざしていながら、無言の「同調圧力」を強く感じ、そこに流されたり、迎合したりして、自分らしさを表現できない社会になっているという一面もあります。

夏休み中に実施したこども公民館では、みんなの前で堂々と説明する姿、低学年にやさしく教えている姿、高齢者の方とたくさんお話をしている姿、素晴らしい感想を伝える姿、ケーブルテレビの取材に応じる姿など、企画したこどもたちも参加したこどもたちも、ふだん学校でも家でもあまり見せない意外な一面をたくさん見せてくれました。

仲の良い友達の前では安心して表現できるけど、たくさんの人の前ではブレーキをかけてしまうこどもたちが、いろいろな機会や場を経験することで、殻を破り、自分らしさを表現し、周りから認めてもらえるきっかけとなり、自分に自信をもつことができるように2学期も環境づくりに努めます。

環境整備作業お世話になりました

8月24日の環境整備作業には、早朝から多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。環境厚生部のお考えにより、今年度は子どもたちも一緒に作業をしてくれました。

ふだんの10分間の掃除時間には、動きが緩慢な子どもたちですが、当日は1時間もの時間を自分たちで率先して、雑巾がけをしたり、サッシのレールを掃除したりする姿に、お家の人と一緒にすることが楽しくて仕方ないように見えました。

保護者の皆様には、ふだん子どもたちの手ではなかなかきれいにならないトイレの掃除を中心に、校舎内のあらゆるところをきれいにしてくださいありがとうございました。

きれいになった学校で、2学期も楽しく充実した学校生活をスタートさせることができました。

たくさんできた折鶴

夏休みこども公民館の企画で作った折鶴は、7/31に参加した子どもたちだけで110羽、8/20の地域の方と一緒に200羽、これに加えて公民館だよりを読んで、古江幼稚園からも30羽以上届けてくださいました。

一昨年度本校に勤務されていた玉林先生から、こども公民館の様子をマールテレビで知り、子どもたちの頑張っている姿や地域の人と一緒に笑顔で活動している姿が素晴らしいとわざわざお手紙をいただきました。

合計300羽以上の折鶴は、企画した子どもたちから6年生の千羽鶴担当係に渡し、さらに係の方で全校に呼び掛けて、千羽鶴として、11月の修学旅行に持参し、貞子像の前で平和を誓った上で、捧げる予定です。

たくさんの方の平和への思いが詰まった千羽鶴。一日も早く地球上から戦争・紛争がなくなることに繋がってほしいです。

個人面談を受けて

7/23～28に実施した個人面談では、暑い中足をお運びいただきありがとうございました。今年度より通知票を2期制としたことを受けて、初めて夏休み期間中に設定させていただきましたがいかがでしたでしょうか？

学校としては、保護者の皆様にお伝えする準備が余裕をもってでき、授業も最後までしっかりと取り組むことができたので、ねらいは達成できたと思っています。

個人面談の際に、いただいたご意見についても、職員会議でじっくり検討し、共通理解ができましたので、以下のとおりお伝えさせていただきます。

○ワンダふるテストについて

学力をテストの点数で判断することにつながるのではという懸念された方がいらっしゃいましたが、このテストの目的は、「算数と国語の基礎・基本的な学力の定着を図る。」「家庭学習の成果を発揮する場の確保。」「計画的に学習する意識を高める。」というものであり、目標をもって学習に取り組もうという意識が高まったり、基礎学力の定着がみられたりしたと一定の成果がありました。難易度や問題数についても、子どもたちがやる気を損なわないように配慮しています。再テストについても、一人ひとりの実態を見ながら「達成感」や「やりきった感」を得ることができるよう担任が工夫をしています。2学期もブラッシュアップしながら継続して取り組みます。

○登校班及び地区会の見直しについて

実態や数年後の状況を踏まえながら、PTA役員会等と連携をして検討します。